

わかば

令和7年 5月 22日 No. 3

日野市立教育センター

『わかば教室』Tel 042-592-0863

Fax 042-592-1148

春風や 風はこぶのは 人の思い 児童俳句より

瑞々しい新緑の若葉が教室の窓から見渡せるようになり、わかば教室全体もさわやかな春の雰囲気にながら活動が続いています。

令和7年度のわかば教室の活動が始まって2か月。4月の多摩動物公園の遠足も無事に実施でき、今後のさまざまなイベントに向けての準備も軌道に乗り始めています。

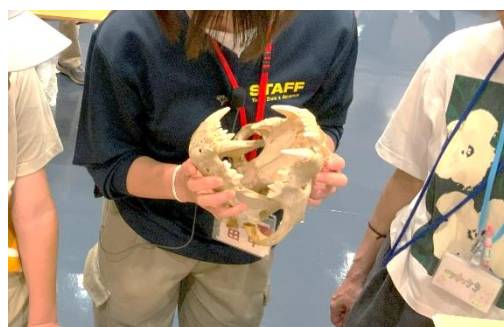
ただし、校庭や体育館で活動すると、汗がふき出すほど暑くなる日もありますので、水分補給も呼びかけつつ、無理をさせないように進めています。通室の際には、お子さんの服装や水筒の量などご配慮いただけますようお願いいたします。

春の遠足(多摩動物公園)

4月25日(金)はうららかな春の多摩動物公園で一日楽しく過ごしました。わかば教室からゆっくり歩いても20分ほどで到着できる動物園は、絶好の遠足場所です。

最初は全員で動物ホールに入り、解説員の方が用意してくれた動物グッズで遊びました。昨年も同じように話をしてくれましたが、今回は新たにライオンの顔の骨格標本なども触らせてもらうことがで

き、迫力ある牙の噛み合わせを実感していました。生まれたてのキリンの等身大の写真の横に立って背比べをしたり、ユキヒョウの毛をなでて手触りを実感したりと、動物たちの身体能力や体のつくりを体感できるコーナーでした。



その後は、3つのグループに分かれての散策です。自然の丘陵を利用した動物園なので起伏も多く、坂道を上るのに時間のかかる人もいましたが、慌てたり急かしたりする人もなく、疲れたら給水やおやつタイムを適宜入れて、動物たちの姿を楽しみながらゆっくり見て回ることができました。

昼食場所のサバンナキッチン[※]の2階席はほぼぴったりわかば教室の子供たちと職員で埋まり、リラックスしながらお弁当を食べることができました。食後、疲れた人はひと足先に集合場所のホールに戻って休みましたが、最後は全員元気に正門前で解散でき、思い出に残る遠足になったことと思います。



散策授業(ことば)

自然の中で季節を感じて、虫や草花に触れたり俳句や短歌を詠んだりする散策授業ですが、毎月一回わかばタイム「ことば」の時間に行う予定を組んでいます。散策前には、その時季の校庭でみられる草花や虫などの話をして子供たちの興味関心を引き出します。



5月の散策は雨上がりの校庭で、春のさわやかな風を感じながら茂みを覗き込んだりバッタを追いかけてたりして、ゆったり過ごすことのできる時間となりました。

散策後は教室に戻って思いのままの言葉を紡ぎながら俳句や短歌を作りました。

「 新緑の みどりの中で バッタとり 」

「 タンポポの 黄色いたてがみ 風にゆれ 」

「 トカゲはう 草むらの土 じっと見て 人生について 考え込む」

総合的な学習…平山陸稲(おかぼ)

5月15日(木)に郷土教育担当の先生と一緒に平山陸稲の種まきをしました。陸稲は水田を使わず畑で育てる稲のことで、明治時代に日野市平山で作り出された品種が「平山陸稲」と呼ばれています。



去年は収穫があまりなく今回撒く種もみも少なかったもので、今回は特別に、陸稲を日野市に広めた農家の方から頂いた種もみも使いました。子供たちが一粒ずつ丁寧に撒いてくれたので、6月の田植えに向けて順調に育ってほしいです。

前期スポーツ大会

楽しく身体を動かす活動を通して協調性や体力の向上を図ることを目的とした前期スポーツ大会を5月20日(火)に実施しました。

今回はポートボール・鬼ごっこ・ドッチビーの3種目ですが、特にポートボールは、わかば教室で今年度初めて取り入れたスポーツです。わかばタイムの時間での練習は3回しかできていませんでしたが、3チームに分かれての対戦では、チームごとの練習にも熱が入り、試合中もしっかりボールを回してのチームプレーがたくさん見られました。



真夏日を記録する暑い日でしたが、こまめな水分補給を呼びかけながらも体育館には初夏の風が吹き抜けていて、気持ちの良い汗をかきながら楽しく過ごすことのできた一日でした。